

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	愛媛県	市町村名	上島町
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	地場産品ブランド化プロジェクト		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	(目的、概要) 上島町では、基本方針にふるさと産業を興すことを掲げ、地域経済の活性化、雇用の増進、地産地消を進めている。そのために、イメージキャラクターの制作(H18年度)、それを使ったパンフ等の制作、都市部でのPRキャンペーン、海外市場調査、アンテナショップの推進をする。 その事業の展開としてH19年度からは ・都市部でのPRキャンペーン実施 ・キャラクターを使ったパンフ等の制作 ・海外市場調査 ・アンテナショップ研究 等を実施する。 (具体的な成果目標) 第3セクターいわげ物産センター等地元産品の販売をしている団体の売上高、現在3団体で114,000千円を3年間で10%増加		
プロジェクトの期間	H19年度～H21年度	政策分野の分類 (①～⑪)	②
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.town.kamijima.ehime.jp/life/life_detail.php?lif_id=1299		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	事業費 (単位：千円)	
キャンペーン実施	都市部で地元の産品を紹介、販売。同時に観光や定住の促進活動をする。 (事業費) 平成19年度 1,036千円	(1,036) 1,036	
パンフレット作成	H18年度作成したキャラクターを使ってポケットパンフレット等の作成 (事業費) 平成19年度 2,042千円(内県補助金680千円)	(2,042) 2,042	
海外市場調査	地場産品の販売力強化を狙って海外の市場を調査 (事業費) 平成19年度 430千円(内県補助143千円)	(430) 430	
アンテナショップ研究	地場産品の販売力強化を狙って都市部でアンテナショップの調査 (事業費) 平成19年度 100千円	(100) 100	
総 計		(3,608) 3,608	
その他特記事項			

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	愛媛県	市町村名	上島町
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	子供を育てたくなる島プロジェクト		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	(目標、概要) 地域の子育て支援・少子化対策の充実のため、子育て・子育ての悩みなどに対して、保健・医療・福祉の総合的な支援活動を実施する。その1つの施策として、上島町で安心して子育てができるように、離島のハンディキャップを補うため、保護者等の経済的な負担の軽減策を実施する。 また、子供たちの健全育成及び離島留学制度の試みとして子供たちの離島体験事業を実施する。 (具体的な成果目標) 出生数を3年間で7%上げる。平成19年3月末42人→平成22年3月末45人 離島体験交流事業により、離島で体験交流する子供20人×3年＝60人、離島留学制度の開始。		
プロジェクトの期間	平成19年度～平成21年度	政策分野の分類 (①～⑪)	③
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.town.kamijima.ehime.jp/life/life_detail.php?lif_id=1299		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	事業費 (単位：千円)	
上島町妊産婦等 通院助成事業	町内で出産できる医療体制が整っていないことから、町外の医療機関を利用せざるを得ない妊産婦の定期健康診査及び子を希望しながら恵まれないために不妊治療を受けている夫婦の診療に係る交通費に対し、助成金を交付し、通院の支援を図る。1回につき5,000円を限度とする。 (妊産婦)@2,000円 (不妊)@5,000円 平成19年度 1,460,000円 平成20年度 1,460,000円 平成21年度 1,460,000円	(1,460) 4,380	
離島体験交流事業	都会の子供と地元の子供たちの交流体験 (事業費) 平成19年度 1,000千円(内市町振興助成金396.5千円) 平成20年度 1,000千円 平成21年度 1,000千円	(1,000) 3,000	
総計		(2,460) 7,380	
その他特記事項			

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	愛媛県	市町村名	上島町
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	定住促進プロジェクト		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	(目的、概要) (1)上島町空き家バンク制度 空き家等を所有する提供者からの申し込みや、市町への移住等を希望する利用者からの申し込みを市町が”空き家情報バンク”として受付け登録し、利用者の希望と物件が合致したとき連絡を行う体制を整備する。 (2)上島町は、個人の空いている家屋を一定期間、原則として、無償で、借り受け、建物を修繕し、産業体験者等の宿泊施設として活用し、1ターンの住まいの確保を図る。 (3)農漁業のお試し研修として、地元の農漁家へ3～6ヶ月間農業研修生として働く定住希望者を募る。その期間をすぎ、本格定住を目指す場合は、町や県のインターン制度等を適用し本格的な定住者として対応する。 (具体的な成果目標) (1)3年間で空き家登録者を30人とし、移住者を10世帯とする。 (2)毎年1棟を適用し、3年間で3棟を目標とする。 (3)対象人員を1年間4人とする。		
プロジェクトの期間	H19年6月～H22年3月	政策分野の分類 (①～⑪)	⑤
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.town.kamijima.ehime.jp/life/life_detail.php?lif_id=1299		

プロジェクトを構成する具体の事業・施策

名称	事業概要	事業費 (単位：千円)
上島町 空き家バンク制度	空き家等を所有する提供者からの申し込みや、市町への移住等を希望する利用者からの申し込みを市町が”空き家情報バンク”として受付け登録し、利用者の希望と物件が合致したとき連絡を行う体制を整備する。 事業費 平成19年度 100千円 平成20年度 100千円 平成21年度 100千円	(100) 300
空き家リニューアル事業	事業費 平成19年度 1,000千円 平成20年度 1,000千円 平成21年度 1,000千円	(1,000) 3,000
農漁業お試し定住研修事業	・農作業実習賃金 1日当たり 5,000円(農家・町負担1/2) ・助成金2,500円×20日×3ヶ月×4人=600,000円 事業費 平成19年度 600,000円 平成20年度 600,000円 平成21年度 600,000円	(600) 1,800
総 計		(1,700) 5100

その他特記事項

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	愛媛県	市町村名	上島町
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	交流促進プロジェクト		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	(目的、概要) 上島町では、基本方針に交流人口を増やすことを掲げ、魅力のある島づくり、外来者の受入、交流ビジネスの推進を主な施策として展開を始めた。 その事業の展開として ・上島町全町イベント「かみじま音楽祭」による町内及び町外者との交流促進 ・男女の交流ツアー等を実施する。 (具体的な成果目標) ・上島音楽祭ー町外から1,500人の来島 ・男女交流ツアーー結婚成立10組(町民として10名の女性の増加)		
プロジェクトの期間	平成19年度～平成21年度	政策分野の分類 (①～⑪)	⑥
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.town.kamijima.ehime.jp/life/life_detail.php?lif_id=1299		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	事業費 (単位：千円)	
かみじま音楽祭	平成19年から21年度まで全町で音楽祭を開催。平成19年度は、上島町岩城において上島音楽祭を開催、音楽祭は町民音楽祭とBEGINのコンサートの2部構成。20年度21年度は開催場所を魚島、生名島にてそれぞれ開催。 (事業費) 平成19年度 10,000千円(内合併周辺地域振興補助金4,250千円) 平成20年度 5,000千円 平成21年度 5,000千円	(10,000) 20,000	
男女交流ツアー	都会の島志向の独身女性と地元独身男性との交流ツアー (事業費) 平成19年度 791千円(内市町振興助成金295.5千円) 平成20年度 791千円 平成21年度 791千円	(791) 2,373	
総 計		(10,791) 22,373	
その他特記事項			

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	愛媛県	市町村名	上島町
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	コミュニティバスの運行等による公共交通の再編		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	(目的、概要) 住民の足である公共交通機関の確保は、中山間部など過疎地域の深刻な課題の一つであります。特に、交通手段を持たない高齢者や子供等への交通手段の確保は福祉的側面からも行政の責務と考えています。 上島町岩城地区においては、福祉バスの運行により、高齢者の方々が公共施設や医療機関への行き来に利用する他、1日7便の内、4便はスクールとの混乗方式で運行するなど財政負担の削減にも努めています。又、各種イベントの開催時は、バスの臨時運行が行われ、高齢者やこどもたちも気楽に参加でき、イベントの賑わいにも役立っています。 (具体的な成果目標) 上島町における公共交通機関の確保については、架橋による路線再編など将来に向けての計画策定がなされているところであります。しかしながら、岩城地区におきましては、着工時期など不確定要素も多く、今後とも、住民の要望や費用対効果を見極めながら、現状の中で最善を模索するしかないと考えています。 今後の成果目標としては、船の航路や福祉有償運送など島内の他の交通機関との連携を蜜にし、利便性を高めつつ、利用者の増加を図りたい。 乗者人数を3年間で5%上げる。 平成18年度 1日平均 146人 ⇒ 平成21年度 1日平均 154人		
プロジェクトの期間	平成19年度～平成21年度	政策分野の分類 (①～⑪)	⑦
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.town.kamijima.ehime.jp/life/life_detail.php?lif_id=1299		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要		事業費 (単位：千円)
コミュニティバスの運行事業	・定期運行 月曜日から土曜日の間 1日7便の定期運行 ・臨時便 各種イベント(さくら祭、敬老の式典、運動会、農業祭、etc) ・運行会議 架橋を見据えた、路線再編や利便性の向上のための協議。 (事業費) 平成19年度 10,339 平成20年度 9,679 平成21年度 9,679 計 29,697		29,697 (10,339)
総 計			29,697 (10,339)
その他特記事項			

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	愛媛県	市町村名	上島町
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	中心市街地活性化プロジェクト		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	(目的、概要) 人口減の続く上島町生名地区において、隣島(弓削島・佐島)との橋(生名橋)の完成(平成21年度)後、交通の便が向上し、交流が盛んになると予測されるので、高齢社会の進展となる中、多目的広場、緑地、駐車場を整備し、生名地区の中心市街地の活性化を図り、駅伝大会等スポーツイベント等を積極的に開催し、高齢者や子どもたちが暮らしやすいにぎわいあふれるまちづくりに寄与できるよう取り組みます。 (具体的な成果目標) 駐車場利用台数 平成17年度現況値 80台 平成21年度目標値 200台 イベントボランティアの参加人数 平成17年度現況値 20人 平成21年度目標値 50人		
プロジェクトの期間	平成18年度 ～ 平成22年度	政策分野の分類 (①～⑪)	⑦
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.town.kamijima.ehime.jp/life/life_detail.php?lif_id=1299		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	事業費 (単位：千円)	
立石港周辺整備事業(多目的広場)(国補助)	多目的広場整備し、社会教育活動を行う他、各種大会、イベント等開催し、地域間交流、世代間交流を活発に行い地域の活性化を図る。	(121,669) 259,000	
立石港整備事業(緑地)(国補助)	立石港湾区域内に緑地整備を行い、隣接する多目的広場、水辺公園との連携を深め、高齢者や子どもたちが気軽に集える場をつくり、賑わいの創出を図る。	(98,037) 149,128	
立石港整備事業(駐車場)(国補助)	上島架橋(生名橋)の開通後、多くの人が利用することが見込まれる立石港の駐車場を整備し、混雑のない地域環境整備を行い、多くの来訪者が快適に利用できる空間、施設整備を行う。	(39,676) 44,765	
総 計		(259,382) 452,893	
その他特記事項			

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	愛媛県	市町村名	上島町
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	防災体制強化プロジェクト		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	(目的、概要) 地域に密着した自治会を母体として、住民相互の助け合いの精神に基づく『共助』のしくみとして、自主的な防災活動を行う自主防災組織の結成と防災士の養成を促進する。また、災害弱者である災害時要援護者対策についても的確な支援体制の確立を目指す。 (具体的な成果目標) 上島町における自主防災組織結成率100%の達成(現在 42%)及び各地区の防災リーダーとなる防災士の養成を目指す。目標数 25名。災害時における要援護者リストの作成及び避難プランの作成。		
プロジェクトの期間	H. 19年度～H. 21年度	政策分野の分類 (①～⑪)	⑨
住民への公表の方法(ホームページアドレス等)	http://www.town.kamijima.ehime.jp/life/life_detail.php?lif_id=1299		

プロジェクトを構成する具体の事業・施策

名称	事業概要	事業費 (単位：千円)
自主防災組織結成事業	防災講演会の開催、避難訓練の実施 (事業費) 平成19年度 140千円 平成20年度 140千円 平成21年度 140千円 計 420千円	(140) 420
防災士養成事業	防災士養成 (事業費) 平成19年度 5名 400千円 平成20年度 5名 400千円 平成21年度 5名 400千円 計 15名 1,200千円	(400) 1,200
災害時要援護者支援プラン作成事業	要援護者リストの作成及び避難プランの作成 (事業費) 平成19年度 30千円 平成20年度 30千円 平成21年度 30千円 計 90千円	(30) 90
総計		(570) 1,710

その他特記事項

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	愛媛県	市町村名	上島町
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	離島救急ヘリポート整備プロジェクト		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	(目的、概要) 上島町高井神、魚島地区は、本庁より海上13.1キロメートル離れた離島であり、病人が発生すると本町の消防署の救急艇により、搬送を行っている。しかし、悪天候の時には搬送が困難である。このことにより救急ヘリコプターによる搬送を可能にするため、既設の電柱、電線の撤去を行い、ヘリコプターの離発着を可能にし救急体制の強化を図る。 (具体的な成果目標) 救急ヘリポートが整備されることにより、愛媛県の防災ヘリコプター・岡山県川崎医大のドクターヘリが来て、最寄の救急救命センターに搬送ができるより、救急医療体制が増強され、魚島、高井神島の住民に緊急な医療への安心と安全を提供できる。 過去に帰省客が救急要請をしたが台風接近のため救急艇はすぐに出動できず、風が治まってから出動した事例があり、今後は救急艇が出動不可能な風速の中でも迅速な救急活動が可能となる。現在までの救急ヘリによる救助活動は皆無→救急活動が可能。現在は風速10mを越える場合には救急活動は困難→風速20mくらいまでは救急ヘリによる救助が可能。現在は上島町の救急ヘリ離発着可能有人島8島の内6島→離発着可能有人島7島。		
プロジェクトの期間	平成19年度	政策分野の分類 (①～⑪)	⑨
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.town.kamijima.ehime.jp/life/life_detail.php?lif_id=1299		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要		事業費 (単位：千円)
救急ヘリポート整備事業	新設4本・撤去1本 電線新設 115m 伐採工 ランドマーク表示 関連工事		(事業費)平成19年度4,579千円 県補助(1,939千円) (4,579) 4,579
総計			(4,579) 4,579
その他の特記事項			

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	愛媛県	市町村名	上島町
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	町営住宅の耐震化		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	(目的、概要) 昭和52年度に建設した公営住宅を、今後予想される南海地震による倒壊等の被害を防ぐために耐震補強工事の実施 (具体的な成果目標) 耐震補強をすることにより、今後想定される地震に対し、入居者並びに地域住民の安心・安全を図る。 現在上島町内の公共施設で耐震診断の必要のあるもの12棟、この事業によりその内1棟が耐震補強工事を完了する。 町営住宅居住者に現在と工事完了後安心度のアンケート調査を実施し、現在に比して工事完了後には住民の安心度を上げる。		
プロジェクトの期間	19年度	政策分野の分類 (①～⑪)	⑨
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.town.kamijima.ehime.jp/life/life_detail.php?lif_id=1299		

プロジェクトを構成する具体の事業・施策

名称	事業概要	事業費 (単位：千円)
公営住宅耐震補強	上島町岩城 石ヶ坪住宅B棟 全戸入居しており、また代替住宅がないために、外部補強タイプのアウトフレーム工法を採用し公営住宅の耐震補強を図る (事業費)平成19年度199,500千円(国補助率45%)	(199,500) 199,500
総 計		(199,500) 199,500

その他特記事項

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	愛媛県	市町村名	上島町
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	資源循環型農業の構築		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	(目的、概要) 地域住民が共同で取り組む農村環境等の保全活動及び環境負荷を軽減する営農活動に対する支援を行い、農村環境等の将来にわたる適切な保全管理と地域住民の共助活動の促進による農村地域の活性化及び資源循環型農業の構築と安心・安全な農作物の供給体制の基盤を目指した特徴ある産地の育成に努める。 (具体的な成果目標) エコファーマー認定者数の増加(H18年度 25人⇒H21年度 35人)		
プロジェクトの期間	平成19年度～平成21年度	政策分野の分類 (①～⑪)	⑩
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.town.kamijima.ehime.jp/life/life_detail.php?lif_id=1299		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	事業費 (単位：千円)	
農地・水・環境保全向上対策支援事業	・基礎的な保全活動、施設の長寿命化、生態系等の環境保全活動、化学肥料、農薬の5割以上の使用軽減等。 (事業費) 平成19年度 3,440千円(国 1/2 県 1/4 町 1/4) 平成20年度 3,440千円(補助率は19年度と同一) 平成21年度 3,440千円(補助率は19年度と同一)	(3,440) 10,320	
総 計		(3,440) 10,320	
その他特記事項			